

研究協力をお願い

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学 病理学教室

記

研究の名称	細胞診検体の臨床病理学的研究
対象	2010 年 1 月 1 日から 2025 年 2 月 28 日までの期間に細胞診検査を実施した患者さんの既存の細胞診標本とその病変の生検や切除標本のパラフィンプロックを研究に利用いたします。本学では、60 例を予定しています。
研究期間	研究実施許可日 ～ 2030 年 2 月 28 日
試料・情報の利用 目的及び利用方法	利用目的：細胞診検査は簡便で、侵襲性の低い検査方法で、様々な臓器の診断に用いられています。近年では、様々な腫瘍の組織型の推定を行うことが多くなり、細胞診断が治療方針の選択などにおいて臨床上重要な役割を担っています。本研究では、腫瘍性病変を中心にその細胞学的特徴を後方視的に解析します。細胞診検査後に生検や手術切除された検体の病理組織学的特徴や臨床的特徴を後方視的に解析し、細胞学的特徴との関連を検討することにより、細胞診検査の精度管理・精度向上や臨床細胞学的特徴を明らかにすることを目的としています。 利用方法：患者さんの細胞診断に用いた既存の細胞診標本やその病変の生検標本や切除標本のパラフィンプロックおよび診療情報を抽出し解析を行います。抽出した診療情報等は、加工して個人を特定できないように対処したうえで取り扱います。研究結果は学会や学術誌で発表される予

	定です。 利用又は提供の開始予定日：研究実施許可日
利用し、又は提供する試料・情報の項目	試料：細胞診断に用いた既存の細胞診標本およびその病変の生検および切除標本のパラフィンブロック 情報：検査データ、診療記録等
利益相反について	本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、この研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。 当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えします。
研究者名 【研究責任（代表）者】 大阪医科薬科大学 病理学 准教授 石田 光明	
参加拒否の申し出について ご自身の試料や診療情報を研究に利用させて頂くことに対する問い合わせ、参加拒否を申し出たい場合は、下記の連絡先までお願いいたします（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。参加拒否の申し出をされた場合は、研究の対象から削除し、研究利用をいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、研究の対象から削除することが	

できかねますので、予めご了承ください。

＜問い合わせ窓口＞

【研究機関】

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科薬科大学 病理学教室

担当者 石田 光明

連絡先 072-683-1221（代） 内線 54021

研究参加拒否書

大阪医科薬科大学 学長 殿
大阪医科薬科大学病院 病院長 殿

大阪医科薬科大学
研究責任者 石田 光明 殿

研究の名称	細胞診検体の臨床病理学的研究
-------	----------------

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否します。

年 月 日 対象者 住所

氏名（自署）

※ご本人が自署できない場合は、代諾者の方がご記入ください。

代諾者（続柄： ）

住所

氏名（自署）